

2010年9月17日

統計界で最高の栄誉とされている
2010年度大内賞受賞者決定



(メダル表面)



(メダル裏面)

1 大内賞の概要

大内賞は、戦後におけるわが国の統計の再建に政府の統計委員会委員長として尽力した大内兵衛博士の業績を記念して、1953年度に設けられたものである。わが国の統計の進歩に貢献した個人、団体等を顕彰するもので、統計界の最高栄誉とされており、2009年度までに284名・2団体が受賞している。

2 2010年度の大内賞受賞者

2010年8月20日(金)、大内賞受賞者を選考する大内賞委員会(委員長：樋口美雄^{ひぐちよしお}統計委員会委員長)は、今年度の大内賞を次の5氏に贈ることを決定した。

(受賞者名)

1 著書、論文等によって、わが国の統計実務の進歩に直接貢献した人

腰原 久雄^{こしはら ひさお}氏 千葉県：元横浜国立大学経済学部教授

2 多年統計実務に従事して、わが国の統計の進歩に貢献した人(50音順)

大橋 正^{おおはし ただし}氏 千葉県：元厚生労働省大臣官房統計情報部社会統計課国民生活基礎調査室長

高久 啓子^{たかひさ ひろこ}氏 東京都：統計調査員

寺西 政子^{てらにし まさこ}氏 香川県：統計調査員

二上 唯夫^{ふたかみ ただお}氏 埼玉県：元内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部国民生産課長

大内賞受賞者の表彰は、2011年2月2日(水)、「全国統計大会」(東京都千代田区「九段会館大ホール」で開催)において行う予定であり、大内賞委員会委員長から、受賞者に対し、賞状のほか副賞として大内兵衛博士の横顔をデザインしたメダル等が贈呈される。

3 受賞者の業績

(1) 著書、論文等によって、わが国の統計実務の進歩に直接貢献した人

○ ^{こしはら ひさお}**腰原 久雄 氏** 千葉県市川市 元横浜国立大学経済部教授

多くの著書、論文等で複数の官庁にまたがる官庁統計の問題点などを指摘して改善に導いたほか、統計審議会の「統計行政の新中・長期構想」の立案に際して、報告者負担と地方統計機構の問題点を明らかにし、新統計法の成立、さらに統計委員会における「公的統計の整備に関する基本的な計画」の作成に大きな影響を与えるなど、わが国の統計実務の進歩に直接貢献した。

(2) 多年統計実務に従事して、わが国の統計の進歩に貢献した人

^{おおはし ただし}**大橋 正 氏** 千葉県市原市 元厚生労働省大臣官房統計情報部社会統計課国民生活基礎調査室長

厚生労働省において 31 年間にわたり統計業務に従事し、この間、新しい厚生統計調査体系の構築、人口動態調査の処理体制の改革、衛生統計の改善・整備、21 世紀出生児縦断調査等 3 本の縦断調査の創設等に貢献したほか、統計委員会基本計画部会のワーキンググループへ参画するなどして統計行政の推進に寄与し、わが国の統計の進歩に貢献した。

^{たかひさ ひろこ}**高久 啓子 氏** 東京都渋谷区 統計調査員

35 年間にわたり家計調査(26 回)、商業統計調査(13 回)、工業統計調査(8 回)、国勢調査(6 回)など合計 128 回の統計調査に従事し、確実な統計調査を実施して、他の統計調査員の模範となっている。また、統計委員会委員や総務省政策統括官との懇談会において、家計調査員としての多年の経験に基づいた意見を述べることなどで、統計行政の推進に寄与し、わが国の統計の進歩に貢献した。

^{てらにし まさこ}**寺西 政子 氏** 香川県高松市 統計調査員

38 年間にわたり工業統計調査(34 回)、労働力調査(18 回)、国勢調査(7 回)など合計 174 回の統計調査に従事し、確実な統計調査の実施と他の統計調査員の指導に尽力した。また、昭和 62 年から現在に至るまで、高松市統計調査協議会の理事、副会長、会長として、統計調査員の資質の向上に尽力したほか、高松市と共同で統計調査員大会を開催して統計の普及に努め、わが国の統計の進歩に貢献した。

^{ふたかみただお}**二上 唯夫 氏** 埼玉県松伏町 元内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部国民生産課長

内閣府において 16 年間にわたり統計業務に従事し、この間、生産勘定、資本勘定等の推計精度向上のため、推計方法の開発整備を行ってきた。SNA(国民経済計算)体系のコア勘定に係る開発整備、SNA 関連統計の開発整備等に貢献したほか、統計審議会のサービス統計整備研究会に参画するなどして統計行政の推進に寄与し、わが国の統計の進歩に貢献した。

(参 考)

1 大内賞の受賞資格

- (1) 著書、論文等によって、わが国の統計実務の進歩に直接貢献した人
- (2) 多年統計実務に従事して、わが国の統計の進歩に貢献した人
- (3) 多年統計の普及につとめ、わが国の統計の進歩に貢献した人
- (4) 統計の実務又は普及を通じ、わが国の統計の進歩に顕著な貢献をした人又は団体等

- ・受賞資格別受賞者数：(1)38名、(2)234名、(3)16名、(4)1名・2団体
計 289名・2団体
- ・分野別受賞者数：府省 103名、都道府県 56名、統計調査員 44名、民間団体 61名
学識経験者 12名、団体 2、その他 13名(調査対象農・漁家)
計 289名・2団体

2 大内賞委員会の構成

大内賞委員会は、統計委員会委員長を委員長とし、統計委員会の6名の部会長によって構成されている。

3 大内賞受賞者の写真は、事務局で用意しておりますので、ご入用の場合は、ご連絡ください。

照会先：大内賞委員会事務局
(財)統計情報研究開発センター 担当：中川博雄
電話：03-3234-7478
E-mail：hiroonakagawa@sinfonica.or.jp